

作成日：2024年8月29日（第1版）

西暦2025年4月～2028年3月に法医解剖を受けられた方のご遺族へ
「頭部外傷による眼底出血の発生条件に関する研究」へのご協力をお願い

1 研究の概要

【研究の背景・目的】

頭部に激しい揺さぶり等の虐待行為を受けた乳幼児には、眼底に出血が生じることが知られています。昨今の刑事裁判において、低所の転落事故でも同様の眼底出血が生じ得るかどうかで意見が分かれ、社会問題となっています。

本研究は、頭部にどれくらいの外力がかかることで眼底出血が生じるかを調査し、低所での転落事故でも眼底出血が生じるかどうかの真偽を明らかにするものです。

【研究の対象となる方】

西暦2025年4月～2028年3月の期間に本学で法医解剖を受けられた方を対象とします。

【研究期間】

許可日から西暦2029年3月31日まで

この研究の対象者に該当すると思われる方のご遺族で、ご質問等がある場合は、「7相談やお問合せがある場合の連絡先」へご連絡ください。また、情報をこの研究に使用してほしくない場合は、2028年8月31日までにご連絡ください。その時点であなたの情報を研究対象から取り除きます。ただし、すでに個人が特定できない状態に加工されている場合等には、あなたの情報を取り除くことができません。

この研究は、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会の審査を受け承認されたうえで、研究機関の長から実施の許可を受けています。また、この研究が適正に実施されているか、継続して審査を受けます。

この委員会にかかわる規程等は、以下のWebサイトでご確認いただけます。

【名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター “患者の皆様へ”】

URL : <https://ncu-cr.jp/patient>

2 研究の方法

法医解剖開始前に特殊な眼底カメラと超音波検査（エコー）機器を用いて、ご遺体の眼を観察します。眼底の状況と年齢、性別、死因、内服薬、死後経過時間、ご遺体の冷蔵庫保管時間、頭部外傷所見との比較検討を行います。本研究のための切開や試料採取は行いません。この研究から得られた情報は、名古屋市立大学が責任を持って管理します。

3 この研究で用いるあなたの情報の内容について

この研究では、以下の情報を利用します。

- ・年齢、性別、死因、内服薬、死後経過時間、御遺体の冷蔵庫保管時間
- ・頭部外傷の場合、頭部外傷の程度と頭に作用した外力の方向

- 眼の超音波（エコー）画像
- 眼底写真

4 研究の実施体制

この研究は、名古屋市立大学が単独で実施します。

研究責任者：医学研究科法医学 氏名 大島 徹

5 個人情報等の取り扱いについて

あなたの情報は、氏名等の個人を特定する情報を削り、代わりに符号をつけた状態で取り扱います。また、この研究の成果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、その際も、そこに含まれるデータがあなたのものであると特定されることはありません。

6 この研究の資金源および利益相反について

企業等の関与により研究の公正さが損なわれる可能性がある状態のことを、「利益相反」といいます。企業等から研究資金の提供を受けている場合等には、利益相反を適切に管理する必要があります。

この研究は、日本学術振興会 科学研究費により実施するものです。利益相反の状況については、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会に必要事項を申告し、適切に管理しています。

7 相談やお問合せがある場合の連絡先

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究の計画について詳しくお知りになりたい場合は、研究に参加している他の方の個人情報や研究の知的財産等に影響しない範囲で、資料をお渡ししたり、お見せしたりすることが可能です。

また、この研究にあなたの情報が利用されることを希望されない場合は、電話によりご連絡ください。

【連絡先】

名古屋市立大学大学院医学研究科法医学

電話番号： 052-853-8181

（対応可能な時間帯） 平日 9時から 17時まで

対応者： 大島 徹